

Vol.17
2024.01.01

SAITAMA CPA NEWS

日本公認会計士協会埼玉会



鉄道博物館（さいたま市）

CONTENTS

会長挨拶
日本公認会計士協会会長挨拶
財務省関東財務局長挨拶
埼玉県知事挨拶
副会長挨拶
専門委員会活動説明
謹賀新年広告

CPDコーナー
2023年度中間事業報告及び活動報告
埼玉会行事
青年部 部員紹介
会報誌30号・20周年記念特集
会員コラム

信頼の力を未来へ
jicpa
日本公認会計士協会 埼玉会

会長挨拶



土屋 文実男
埼玉会 会長

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、すこやかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

また、平素より埼玉会の会務活動にご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。おかげさまで埼玉会の会員・準会員登録数は毎月微増が続き、昨年度より千名の大台を超えています。会員数においても何れは千名の大台を超えることを期待しております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に注意すると共に、いわゆる「アフターコロナ」を見据えて、会務活動全般を実施してまいりました。

現在においても、コロナ禍で導入されたりリモート参加等による新コミュニケーションツールは、その利便性から引き続き利用しております。

役員会や正副会長・常任幹事会、各種委員会会議等におきましては、対面とリモート出席との併用であるハイブリッド開催により実施しております。

研修会におきましても、なるべく多くの会員の皆さまに出席いただきたくハイブリッド開催を主体として実施しております。

コロナ禍前まで埼玉県内の主要地域で実施していた対面型の「巡回研修」は、昨年の11月に所沢市で実施することができました。

対面を主とする厚生活動においては、ゴルフコンペやウォーキング大会の参加、忘年会等、昨年度と同様に実施することができました。コロナ禍においては実施を控えていた懇親旅行は、昨年の9月に広島地方に行くことができました。

既にお伝えしている中小企業支援に特化した7回シリーズの「中小企業マイスター研修」は昨年末までに6回が終了しました。好評であったために、「+（プラス）」も考えております。

この「中小企業マイスター研修」は、会員の皆さまの中小企業支援業務における専門的知識の底上げを図るとともに、中小企業を取り巻くステークホルダーに対しての「ドアノックツール」としての意味合いもあります。埼玉会会員の中小企業支援の一助になれば幸いです。

さらには、中小企業を取り巻くステークホルダーに参加していただく「中小企業コンベンション」（今年10月23日開催予定）に繋げていき、埼玉会会員の中小企業支援を後押ししていく所存です。

小学生向け会計教育プログラムである「ハロー！会計」は、昨年は受講者に「ジュニア公認会計士」になってもらい活発な意見が交わされました。高校生向けの公認会計士紹介講座は、多数の参加をいただきました。大学生向けの「公認会計士制度説明会」は埼玉県内の3つの大学で実施することができました。公認会計士の後進育成のみならず、世間一般に公認会計士が認知されることを期待しております。

今まで説明しました施策の多くは、若手の埼玉会会員が中心になって企画・運営されています。若手会員の会務における活躍の場を今後も提供していきたいと思っています。

各種研修会後の意見交換を兼ねた懇親会も活発に行われるようになりました。

会員相互間の情報交換と親密なコミュニケーションが可能な機会となりますので積極的な参加をお願いいたします。

最後に、皆さまにおかれましては、今後とも益々の我々日本公認会計士協会埼玉会へのご指導及びご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

社会の期待に応え、 信頼溢れる未来へ



日本公認会計士協会
会長
茂木 哲也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素より当協会の活動にご理解ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

2023年7月に、公認会計士制度は制定75周年を迎えました。企業活動のグローバル化や技術革新、サステナビリティの重要性の高まりなど、社会・経済の環境は大きく変化し、それに伴い公認会計士に求められる役割や業務も変わってきています。公認会計士がこれからも社会の変化に積極的に対応し、「信頼を創る」という価値を実現していけるよう、当協会では様々な施策に取り組んでいます。年頭に当たり、これらの変化に適応していくための施策について述べさせていただきます。

1. 会計監査の信頼性確保や公認会計士の能力の一層の発揮・向上に資する公認会計士制度の実現

15年ぶりに改正された公認会計士法が2023年4月から施行されました。法改正はゴールではなくスタートです。より良き制度運営に向けて、法改正の趣旨を踏まえ、上場会社等監査人登録制度の厳格な運用や、多様な領域で活躍する公認会計士への支援、会計リテラシーの普及・定着等に努めてまいります。

2. 企業情報開示をはじめとする資本市場における在るべき制度の検討

資本市場における情報開示の領域が拡大する中で、改めて企業情報開示全体を見渡し、その在るべき制度を検討すべき局面にあります。例えば、投資家は株主総会開催前の有価証券報告書提出に関するニーズを持っており、企業と株主との対話促進に向けて、これを前向きに検討していく必要があります。

また、サステナビリティ情報の開示及び保証基準の開発が急速に進められています。公認会計士が、サステナビリティ情報の領域においてもその信頼性確保のために重要な役割を担うべく、基準開発及び基準の円滑な導入に向けた支援に取り組んでいます。

一方で、このような新たなニーズに応えていくためには、社会全体での生産性を高められるよう、限りあるリソースをより有効な情報に効果的・効率的に配分していくことが求められます。

例えば、企業の統合報告や会社法と金融商品取引法の法定開示書類の一元化を実現することにより、投資家が必要とする情報を効果的・効率的に提供することが可能となり、監査の重複といった課題を解決することにもつながります。

開示制度の一層の充実に向けて、引き続きステークホルダーと積極的に対話をしていくとともに、我が国の経済社会の発展に寄与するという目的のもとで積極的な対応を図ってまいります。

3. 公認会計士の資質向上・能力開発

公認会計士が社会から信頼され続けるためには、環境の変化に適応した能力開発が必要です。

先述のとおり、公認会計士がサステナビリティ情報の領域においても重要な役割を担っていくためには、それらを支える人材の育成や能力開発が重要であり、公認会計士のサステナビリティに関する知見・能力の向上に向けた取組に注力していきます。

加えて、当協会では、試験前教育、公認会計士試験、実務経験、実務補習、修了考査及びCPDに至る一連の過程を通じた、一体的・包括的な資質向上・能力開発について検討を行っています。外部有識者にもヒアリングを実施するなど深度ある検討を行い、意見集約を行っています。

4. おわりに

公認会計士が社会の期待に応え、安心で活力に満ちた豊かな未来の創造に貢献できるよう、業界全体として取り組んでまいります。

会員・準会員の皆様におかれましても、日々の研鑽に励んでいただき、これからも社会に信頼を付与することを通じて、経済社会の発展に寄与されることを期待しています。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



伊野 彰洋
財務省関東財務局長

新年あけましておめでとうございます。

日本公認会計士協会埼玉会及び会員の皆様方には、日頃より私ども関東財務局の業務運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

埼玉会におかれましては、土屋会長をはじめとする執行部の皆様方のご尽力のもと、監査及び会計の専門家として、「財務に関する情報の信頼性確保」という経済活動の基盤を支える大変重要な役割を果たされていることに、改めて深く敬意を表したいと存じます。

さて、近年の会計監査を取り巻く経済社会情勢の変化を踏まえ、会計監査の信頼性確保や公認会計士の一層の能力発揮・能力向上に資する制度の実現を図る観点から、昨年4月に施行された改正公認会計士法により上場会社監査に関する登録制が導入され、貴協会による適格性の確認、監査人に対する適切な業務管理体制整備等が義務化されました。貴協会におかれましては、上場会社等監査人名簿への登録審査、中小監査事務所の体制整備の支援等の取組にご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

また、企業開示の現状におきましては、企業のサステナビリティ開示の充実や四半期開示の見直し等への対応が今後求められており、貴会及び会員の果たすべき社会的役割や今後の取組・活動に対しましてご期待申し上げます。

私ども関東財務局は、「地域と歩み、希望ある社会を次世代へ」をスローガンとして掲げ、「財政」「金融」「国有財産」、そして「開示行政」などの業務を通じ、地域経済の一層の発展に貢献していくことを重要な使命としています。

そのため、地域の多様な主体とのネットワークの深化・拡大を図りつつ、双方向のコミュニケーションを可能とするプラットフォームを構築するなど、地域の特性やニーズを踏まえた地域連携の取組を組織一体となり、積極的に展開しています。

貴会の活動の一つである中小企業支援との関連で申し上げますと、関東財務局は、コロナ禍以降、都道府県毎に地域の公認会計士・金融機関・支援機関等関係者の方々と連携し、事業者支援のための課題と対応策を共有する「事業者支援態勢構築プロジェクト」を推進しております。

昨年5月より、新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行し、社会経済活動の正常化が進みつつある一方で、原材料・エネルギー価格等の上昇や人手不足の影響等により、依然として厳しい状況に置かれている事業者が数多く存在しており、経済環境の変化を踏まえ、資金繰り支援にとどまらず、中小企業の経営改善・再生支援の強化が求められる中、これまで以上に事業者の実情に応じた本業支援に取り組むことが大変重要となっております。貴会のご協力に感謝するとともに、引き続きのご協力をお願いいたします。関東財務局といたしましても、引き続き貴会をはじめとする地域の関係者の方々と連携・協働し、地域とともに歩み、地域の声に耳を傾け、地域課題の解決に貢献してまいります。

末筆となりますが、埼玉会の皆様方には、今後とも監査及び会計の専門家として厳正な監査の実施、また、地域経済の活性化、地方創生の進展等に向けて、一層のご尽力をお願い申し上げますとともに、日本公認会計士協会埼玉会のさらなるご発展と会員の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

未来志向で 新時代を切り拓く



埼玉県知事
大野 元裕

明けましておめでとうございます。

日本公認会計士協会埼玉会の皆様には、健やかに令和6年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より、監査・会計の専門家として本県の健全な経済活動の維持・発展のため御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、コロナの感染症法上の位置付けが変更されました。コロナ前の状態に完全に同じに戻ることはないであろうとの前提に立つ一方で、コロナ禍での変化を前向きに捉え、コロナを克服した持続的発展を可能にする社会の実現を目指すポスト・コロナ元年と位置付けました。

本年は、経済の正常化にとどめることなく、埼玉県が直面する二つの歴史的な課題に敢然と立ち向かい、持続的な発展を確かなものとする年にしなければなりません。

一つ目の課題は、人口減少・超少子高齢社会の到来であり、二つ目は、激甚化・頻発化する自然災害、パンデミックなどの危機への対応です。

二つの歴史的課題に立ち向かうためには、10年後、20年後を見据えた未来志向の施策展開が必要です。

まず、一つ目の人口減少・超少子高齢社会への対応として、人口減少下であっても生産性を向上させることで持続的成長を成し遂げることが不可欠です。DXを更に推進することで社会全体の生産性を高め、新たな価値やサービスを創出してまいります。生成AIなどの新たな技術を活用することで、業務プロセスを変革させ不断の行財政改革を推進してまいります。

また、コロナ禍で進展したテレワークなどを活用し、地域において職住が近接した環境を整備するとともに、交通難民・買い物難民を発生させず、その地域で高齢者や子供たちを見守ることを可能にする「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」を強力に推進します。超少子高齢社会を見据え、持続可能な市町村のまちづくりを支援するこのプロジェクトは29市町まで拡大したところですが、できるだけ早期に全市町村に御参加いただくことを目指します。

二つ目の様々な危機への対応として、関係機関の連携に主眼を置き様々なシナリオ作成や図上訓練を繰り返す「埼玉版FEMA」をより一層充実させ、県民の安心安全を確かなものとしてまいります。

他方で、エネルギー・物価高騰といった喫緊の課題にも機動的に対応し、引き続き支援の手を緩めることなく取り組みます。また、不透明なエネルギー情勢に対応し、企業の体力を強化すると同時に、経済と環境の両立による持続的な発展を確かなものとするため、サーキュラーエコノミーとネイチャーポジティブの推進を更に強化してまいります。

さらには、子供への医療費助成など、社会の宝である子供への支援を強化するとともに、女性、高齢者、障害者、性的マイノリティ（LGBT等）など、あらゆる人が活躍できる社会づくりを進めてまいります。

新年を迎え、二つの歴史的課題をはじめとする様々な課題に対し、未来志向で敢然と立ち向かってまいります。

さて、昨年は本県に注目が集まるうれしいニュースも続きました。本県が日本一おいしいいちごの産地であるプレミアムいちご県に認定されたほか、前作で大ヒットを記録した映画「翔んで埼玉」の続編が公開され大きな話題となりました。今年も、渋沢栄一翁がデザインされた新一万円札が発行される予定であるなど、本県に注目が集まる今こそ、県内外に埼玉の魅力を発信するチャンスではないかと思っています。

今年の干支「辰（たつ）」は、活力旺盛になって大きく成長する年とされています。今年が埼玉県にとって大きな成長の年となるよう、皆様と共に「ワンチーム埼玉」で県政に取り組んでまいります。

副会長挨拶



副会長（経理）
工藤 道弘

明けましておめでとうございます。経理担当副会長の工藤道弘でございます。

会員の皆様におかれましては、日頃から埼玉会の会務にご協力いただきありがとうございます。ようやくコロナが5類に移行したことで、埼玉会の活動もコロナ以前のような活動に戻っております。通常モードに備えた予算額を策定しておりましたので、引き続き適切な予算執行に努めてまいります。

また、今年6月の定期総会後は、土屋会長体制の最終年度に入ります。秋には最終年度にふさわしいイベントも控えていますので、イベントを通じてしっかりと地域貢献ができるように、予算の面から支えていきたいと思っています。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



副会長（厚生）
飯野 浩一

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、年末年始をゆっくりご静養されたことと存じます。

旧年中は、埼玉会の厚生事業にご理解ご協力を賜りありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行を経て、事業が概ね順調に実施できたこと、感謝に堪えません。土屋会長の的確な指示のもと、青山常任幹事と池田常任幹事のパワー溢れる若手の力、委員会メンバーである深谷さん鎌田さんの経験と知恵、事務局の皆様の支えで、1年間の事業活動が実施できました。

本年も引き続き、多様化する会員皆様の要望を伺いつつ、地域の公認会計士である私たち仲間の親睦を深められるよう活動いたします。日々の忙しい業務のなかのちょっとしたオアシスとなれるよう、委員会メンバーと事務局の皆様と笑顔で楽しく頑張ってもらいますので、本年も変わらぬご支援のほどどうぞよろしく願いいたします。



副会長（研修）
中澤 仁之

皆様、新年おめでとうございます。研修委員会担当の中澤です。

昨年も関係各位の皆様のご尽力のおかげで、充実した内容のたくさんの研修会を開催することができました。各専門委員会主催研修会や7回シリーズで開催中の中小企業マイスター研修会、所沢での巡回研修会等々です。

また、2022年度は単位履修結果の義務達成率が98.8%となり、協会全体と同水準まで回復しました。2023年度も残り3か月となりましたが、すべての会員に義務を達成していただきたく、何卒宜しく願い申し上げます。

2024年は私の任期の最終年となりますが、研修委員会や研修企画特別委員会をはじめとする関係者の皆様と連携し、引き続き充実した内容の研修をお届けできるよう努力してまいりますので、宜しく願い申し上げます。



副会長（業務）
佐久間仁志

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

業務委員会では、公認会計士業務の普及のため関東財務局、地方公共団体等への表敬訪問のほか関係諸団体への連絡会等を通じて情報交換を行い、また中小企業に対して会員が行う業務のために外部関係諸団体との連携を図り、さらに埼玉友好士業協議会の活動に参加して積極的な地域貢献を行っております。

具体的な活動としては、令和5年9月11日に関東財務局長、10月19日に埼玉県知事、10月30日に関東信越国税局長及び関東信越国税不服審判所長へ表敬訪問を行いました。また、11月4日には埼玉友好士業協議会主催の「暮らしと事業のよろず相談会」が浦和コルソで開催され、埼玉会業務委員4名が相談員として参加、相談業務を行いました。さらに、事業承継ネットワーク会議（5月12日と11月10日）、埼玉県中小企業活性化協議会（7月3日）、埼玉県商工会議所議員大会（10月31日）、彩の国中小企業支援ネットワーク会議（11月21日）に参加し、関係諸団体及び各種金融機関等と情報交換を行いました。

令和6年には10月に中小企業支援コンベンションが開催されます。すでにこれを開催するためのプロジェクトチームが結成され活動を開始しておりますので、どうぞ協力よろしくお願いいたします。



副会長（調査研究）
村田 克也

新年明けまして、おめでとうございます。

埼玉会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

調査研究委員会は、8つの専門委員会（公会計専門委員会、学校法人専門委員会、公益法人等専門委員会、社会福祉法人専門委員会、NPO法人専門委員会、税務専門委員会、中小企業支援対応専門委員会、医療法人専門委員会）を管轄しております。委員会活動は主に次のとおりです。①自主的な勉強会 ②研修会の企画・運営・実施 ③埼玉会会員である本部専門員等から本部情報をいち早く入手し、必要に応じて情報共有を図る ④各々の専門分野からの埼玉会への問い合わせの受け皿など。調査研究委員はその窓口や調整の役割を果たしております。

今年度は初めての試みとなる中小企業マイスター研修を企画・運営し、研修の充実を図ってまいりました。委員会のさらなる発展には、皆さまの積極的な参加が必要不可欠でありますので、お気軽にご連絡ください。



副会長（広報）
大塚 健一

新年あけましておめでとうございます。広報担当の大塚です。

このSAITAMA CPA NEWSは第17号の発行となりますが、前身である「埼玉県会 CPA ニュース」からカウントするとちょうど第30号目となります。また、埼玉県会 CPA ニュースの初回発行は2004年1月1日ですので、丸20年に渡って会報誌の発行を継続してきたこととなります。

読み返したところ、2003年11月1日時点の会員・準会員数は426名だったとのこと。現在は1,000名超ですので、この20年間で埼玉会は2.5倍の組織になりました。埼玉会ホームページで過去全ての会報誌の閲覧ができますので、宜しければご覧ください。

このように会報誌の発行を続けてこられましたのもひとえに皆様のご支援とお力添えの賜物であり、この場を借りて深く感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

公会計 専門委員会



委員長 柴田 英樹

公会計専門委員会は現在18名で活動しております。公会計専門委員会は委員が公会計及び公監査に関する専門性を高めることを支援し、かつ会員間の情報交換を推進することを目的として活動しております。令和5年度の活動としましては、7月中旬に公会計専門委員会の委員会を開催し、10月11日に公会計専門委員会主催研修会「防衛省の入札談合防止に関する取組み～包括外部監査補助者養成講座～」を開催いたしました。また、総務省が実施しております「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」のアドバイザーに公会計専門委員会より当該登録を希望する委員を埼玉県を通じて推薦し、登録するという初めての試みも行いました（当該アドバイザー登録に関しては小山彰元会長及び渡邊靖雄副委員長の多大なるご協力を賜っておりますことをこの場にて申し添えます）。

このように公会計分野では公認会計士など専門的知見を有する専門家の活用がますます広がっており、公会計専門委員会としてはできるだけこれらの情報をタイムリーに提供できるように努めたいと思っております。

公会計専門委員会では新規のご入会を歓迎しております。公会計・公監査にご興味がある方のご参加を心よりお待ちしております。

学校法人 専門委員会



委員長 井上 正之

学校法人専門委員会は、学校法人の会計監査や税務に関与される会員・準会員の皆様をはじめ、興味がある、知見を深めたいなど、様々な意欲をお持ちの皆様にご参加いただいております。昨年は11月に専門委員会を開催し、顔合わせや意見交換などをさせていただきました。また、本年には、埼玉県総務部学事課の担当者をはじめとする外部の方をお招きして、意見交換会の開催を考えておりますので、奮ってご参加いただければ幸いです。

学校法人専門委員会では、会員・準会員の皆様に学校法人監査、税務の知見・経験をさらに深めていただけるような場を提供できればと考えております。まだまだ試行錯誤を継続している段階ではありますが、学校法人に特有の会計・税務の論点に係る勉強会なども開催できればと考えております。少しでもご興味のある方がいらっしゃいましたら、お気軽にお声がけいただければ嬉しく存じます。

公益法人等 専門委員会



委員長 中村友理香

公益法人等専門委員会は、公益法人への関与の有無にかかわらず、知見を深めたいという会員が参加して活動しています。

例年、当専門委員会では、年度初めの委員会で年度計画を策定し、研修内容を企画の上、実施しています。会員相互の質疑応答も行っています。

令和5年度は、12月に協会本部非営利法人委員会公益法人専門委員会専門委員の富川昌之先生をお招きし、「JICPA実務指針などでは公表されていない、公益法人等に係る実務上の疑問点の解説」を講義いただきました。

委員会の開催はリモートで、研修はリモートと会場来訪との併用型ライブ研修と、参加者の利便性を高め、会員の皆様が公益法人の会計・監査・税務に触れる機会を少しでも増やしたいと企画しています。来年度はこんな内容の研修を受けてみたいというご希望をお持ちの先生がいらっしゃいましたら、是非、私もしくは事務局までご意見をお寄せください。

令和5年6月に「新しい時代の公益法人制度の在り方に関する有識者会議 最終報告」が公表され、令和7年4月に改正法の施行が予定されています。平成20年12月に法人法等が施行されてから約15年経過し、再び公益法人の制度や会計が変わる予定です。

公益法人の会計・監査・税務等に少しでも興味を持たれている会員の皆様、強制的に何かしなければいけないという課題もありませんので、お気軽にご参加ください。

お待ちしております。

社会福祉 法人 専門委員会



委員長 大野 夏美

社会福祉法人専門委員会は、今年度も各行政の監査部の方々との交流会を実施し、年明けに埼玉県福祉監査課の方を講師としてお招きし、講義を実施していただく予定です。恒例の行事となっておりましたが、交流会の行政の方々からの期待は高く、社会貢献や勉強をさせていただいております。この場をお借りして、ご協力いただきました全ての方々に御礼申し上げます。ありがとうございます。

今年度は、コロナ禍で中断していた埼玉県福祉監査課、さいたま市監査指導課、埼玉県社会福祉協議会、さいたま市社会福祉協議会に、副会長とご挨拶にまいりました。久しぶりの対面でのご挨拶は、オンラインとはまた異なる、相手の表情を見ながらのご挨拶ということで、とても有意義なものであったかと思えます。今後とも、行政との繋がりを密接にしながら、会員の皆様にとって有意義かつ楽しい活動を展開してまいりたいと考えております。少しでも関わってみたいと思う方はぜひご入会ください。

委員長 深谷 豊

NPO法人 専門委員会



NPO法人専門委員会では、NPO支援を目的とし、埼玉県との情報交換やNPO専門家の増員を目指し、NPO法人に関する研修を毎年実施しております。例えば、恒例として毎年年末には埼玉県共助社会づくり課とコラボして、現状における埼玉県のNPO支援の取組状況等について出前講座を依頼し、また研修を実施しております。2023年12月も出前講座はもとより、研修テーマとして、NPO法人絡みの重要テーマ解説（NPO法人と一般社団法人等との違い、障害者福祉サービスは法人税法上の収益事業に該当するかなど）、NPOの会計税務相談事例解説を実施しました。

本年度におきましては、NPO支援団体である「認定NPO法人 NPO会計税務専門家ネットワーク（通称アットプロ）」の全国研修会が埼玉県で実施予定ですので、その協賛を行い埼玉県におけるNPOの活性化に寄与したいと考えています。NPO法人を顧問にお持ちの方はもちろん、今後NPO法人に関わりたい方には是非ご参加いただきたいと思えます。

また、さいたま市との共同でNPO相談会相談委員としてNPO支援も行います。

行政や営利法人が救えない社会課題を解決しているNPO活動がたくさんあります。会計税務の専門家として情報公開を通じてNPOの信頼性向上にご支援いただきますようお願い申し上げます。

委員長 森山 謙一

税務 専門委員会



税務専門委員会では、主に研修会の企画や実施、租税調査会等の会議への参加などを中心に活動しております。

当年度におきましても、毎年恒例となっております各研修会を開催させていただくことができました。8月29日（火）に関東信越国税不服審判所の所長様及び審判官の方を講師にお迎えして国税不服審判所研修会を、また、翌月の9月28日（木）には、関東信越国税局研修会を開催させていただくことができました。過年度ではコロナ禍でもあり、リモートのみでの開催もございましたが、ハイブリッド形式での開催をすることができ、徐々にではございますが、多くの方に会場にお越しいただけるようになってきております。

また前年度から開始しました新しい研修会である、関東信越国税局の税理士監理官の方をお迎えし、綱紀監察関連研修会を、当年度におきましても10月30日（月）に開催させていただきました。こちらの新しい研修会についても、ぜひ今後も回を重ねさせていただいて、恒例の研修会にさせていただければと考えております。

税務専門委員会の主な目的としてCPDの必修である税務研修2単位を確保する機会を会員の皆様にご提供できるようにすることがございますので、上記定例研修会は今後も継続的に開催してまいります。加えてその開催時期につきましても、会員の皆様が参加されやすい時期に開催できるよう検討してまいります。

中小企業 支援対応 専門委員会



委員長 青山 裕之

中小企業支援対応専門委員会は、現在23名の委員で構成され、「公認会計士による中小企業支援のプレゼンスの向上」を目的として、委員間交流の促進、情報交換、研修の企画等に取り組んでいます。

今年度の特筆すべき事項として、土屋会長の音頭により当専門委員会のメンバーから中小企業マイスター研修PTが組成され、中小企業税制、労務、事業再生、行政・関係諸官庁とのコミュニケーション、SDGs等の全7回の研修企画・運営がなされました。これを契機として、会員の中小企業支援にかかる幅広い分野でのスキルアップを図ると同時に、次年度に開催される中小企業支援コンベンションの企画運営に連結していく流れとなります。また、埼玉県中小企業活性化協議会との連携事業にかかる埼玉会からの業務推薦の実績が増えてきたことも特筆すべき事項でしょう。

また、委員会においては、メンバーの近況・トピックの報告を恒例としており、タレント性あふれるメンバーの話は、共感・刺激・悩み解決の種となるため、とても楽しい時間です。

ぜひ多くの会員の皆様にご参加いただき、委員会活動をより有意義なものとしてまいりたいと思います。今後ともよろしく申し上げます。

医療法人 専門委員会



委員長 岩波 一泰

医療法人専門委員会は、平成30年に新たに創設された委員会です。

平成29年4月2日以降開始する事業年度からは一定規模以上の医療法人に公認会計士監査が導入され、それに先立ち平成28年に「医療法人会計基準」(平成28年厚生労働省令第95号)が制定されました。また、令和5年8月以降に決算期を迎える医療法人から毎年、会計年度終了後原則として3ヶ月以内に病院・診療所毎の経営情報(損益情報、職種別給与総額及びその人数に関する情報)を都道府県に報告しなければなりません。このような状況に対し、監査、経営指導等を行う公認会計士への期待が高まっております。

医療法人専門委員会の活動としましては、年に数回会議を開催し、医療法人に関する会計・税務・監査に関する意見交換を行っております。委員の中には、既に医療法人の監査業務に従事している委員もいれば、会計指導、税務業務も含め医療法人に関する業務に現在従事していない委員もあり、委員の医療法人に関する従事状況は様々です。

最後に、医療法人の監査に既に従事している会員、従事を希望される会員、医療法人の業務に興味のある会員の方がいらっしゃいましたら、是非委員会の活動に参加ください。会員皆様の参加をお待ち申し上げます。



謹賀新年

KPMG あずさ監査法人

有限責任 あずさ監査法人 北関東事務所

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町1丁目10番地17

シーノ大宮サウスウイング14階

TEL 048-650-5390

FAX 048-650-5381

公認会計士協同組合
理事長 小川 千恵子

〒102-0074

千代田区九段南4-3-13

麹町秀永ビル3階

TEL 03-3515-8960

FAX 03-5226-3505

E-mail info@cpacos.or.jp

Deloitte. トーマツ.
デロイト トーマツ

有限責任監査法人トーマツ さいたま事務所

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町1丁目9番4号

エクセレント大宮ビル

TEL 048-641-7220

FAX 048-641-7256

株式会社 **日本会計士学館**
代表取締役社長 深代 勝美

〒102-0074

千代田区九段南4-3-13

麹町秀永ビル3階

TEL 03-3515-8950

フリーダイヤル 0120-393-293

荒井 伸 夫

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町4丁目41番地

ASPERO BLD 4階

TEL 048-788-5865

FAX 048-788-5866

E-mail araicpa@lake.ocn.ne.jp

飯野 浩 一

〒349-0121

蓮田市関山1丁目1番17号

TEL 048-769-5501

岡庭 武 利

〒341-0035

三郷市鷹野1-340

TEL 048-956-1715

FAX 048-955-4228

大塚 健 一

〒354-0024

富士見市鶴瀬東2-7-23



小笠原 薫 子

〒340-0052
草加市金明町446-8
TEL 048-944-1061
URL <https://ogasawara-accounting.com/>

工 藤 道 弘

〒330-0844
さいたま市大宮区下町3-7-1-F804号
TEL 048-648-9598
E-mail kudo.cpa@nifty.com

熊 木 雄 太 郎

〒335-0016
戸田市下前1-13-15
TEL 048-443-3301

小 山 彰

〒333-0848
川口市芝下二丁目3番11号
TEL 048-266-2884
FAX 048-267-3095

佐久間 仁 志

〒350-1122
川越市脇田町15-15 古賀ビル301号
TEL 049-228-3336
FAX 049-228-3337

柴 田 英 樹

〒336-0021
さいたま市南区别所7-6-8
ライブタワー武蔵浦和内
TEL 048-816-3990
E-mail shiba-h@topaz.plala.or.jp

土 屋 文 実 男

〒330-0053
さいたま市浦和区前地1-2-15
TEL 048-887-2566
E-mail f-tsu@jcom.home.ne.jp

中 澤 仁 之

〒330-0801
さいたま市大宮区土手町2丁目99番地
アーバンレックス102
TEL 048-871-6941
FAX 048-871-6944



能 見 孟 俊

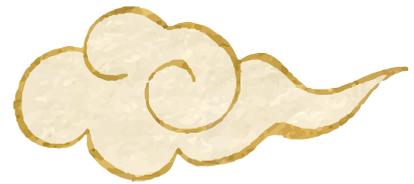
〒360-0037
熊谷市筑波1丁目195
TEL 048-524-7272

蛭 川 俊 也

〒360-0033
熊谷市曙町3-62-2
TEL 048-525-0685
E-mail cpahiru@tkcnf.or.jp

宮原公認会計士事務所 宮 原 敏 夫

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂2丁目2番3号 8階
TEL 048-834-1155 (代)
FAX 048-834-1156



CPDコーナー

【2023年埼玉会主催研修会下期実績】

実施日	※	テ	マ	講	師	項	目
10月11日 (水)	L	【中小企業マイスター研修会】	1部：地域連携の取組み及び事業者支援体制構築プロジェクトについて 2部：官民を越えた連携支援の実態と特徴的な取組み	1部：高梨誠（財務省関東財務局総務部総務課地域連携推進官）野呂美奈子（財務省関東財務局理財部金融調整官付上席調査官） 2部：杉原総一郎（関東経済産業局産業部中小企業金融課課長補佐）		コンサルティング (コード：5401)	2単位
10月11日 (水)	L	【公会計協議会継続研修】	公会計専門委員会主催研修会「包括外部監査補助者養成講座～防衛省の入札談合防止に関する取組み～」	柴田英樹（公認会計士、元防衛省防衛監察本部防衛監察調査官、埼玉会研修委員会担当幹事、埼玉会公会計専門委員会委員長）		必須・監査 (コード：3112)	1.5単位
10月20日 (金)	L	【中小企業マイスター研修会】	顧問先等の経営危機対応マニュアル	坂部達夫（税理士）		コンサルティング (コード：5199)	3単位
10月30日 (月)	L	【関東信越国税局連携研修会】	税務専門委員会主催研修会「国税局担当官による綱紀監察関連研修会」	関東信越国税局ご担当者		必須・倫理 (コード：1001)	2単位
11月25日 (土)	L	【巡回研修会所沢大会】	新リース会計基準 ～リース会計基準公開草案及び現行実務に与える影響を解説します～	織田智美（公認会計士、埼玉会研修企画特別委員会委員）		会計 (コード：2101)	1.5単位
11月25日 (土)	L	【巡回研修会所沢大会】	インボイス制度と電帳法への対応 ～インボイス適用から1カ月が経過。今、会計事務所が悩んでいることを共有します～	鈴木雅也（公認会計士、埼玉会研修企画特別委員会委員、埼玉会幹事）		必須・税務 (コード：4091)	1.5単位
11月28日 (火)	L	【中小企業マイスター研修会】	信用保証協会が関与する事業再生について	灰原久雄（保証経営支援部創業経営支援担当部長） 田端克也（保証経営支援部副部長） 山本義将（保証経営支援部経営支援統括課課長）		コンサルティング (コード：5117)	3単位
12月9日 (土)	L	【年末研修会】	女性経営者に聞く！公認会計士のためのブランドイメージ向上研修会 1部：イメージコンサルティング	森内真希（Brilliant Impression株式会社代表取締役）		スキル (コード：9101)	2単位
12月9日 (土)	L	【年末研修会】	女性経営者に聞く！公認会計士のためのブランドイメージ向上研修会 2部：ブランディングワーク	森内真希（Brilliant Impression株式会社代表取締役）		スキル (コード：9101)	1単位
12月14日 (木)	L	【NPO法人専門委員会主催研修会】	1部：地域活動のススメ 2部：NPO法人絡みの重要テーマの解説（NPO法人と一般社団法人の違い、障害福祉サービスは収益事業か？など） 3部：NPO法人の会計税務相談事例解説	1部：黒澤岳博（埼玉県共助社会づくり課主幹） 2部：深谷豊（公認会計士、埼玉会幹事、NPO法人専門委員会委員長） 3部：酒井健一（公認会計士、NPO法人専門委員会副委員長）		会計 (コード：2999)	3.5単位
12月21日 (木)	L	【公益法人等専門委員会主催研修会】	「JICPA実務指針などでは公表されていない、公益法人等に係る実務上の疑問点の解説」	富川昌之（非営利法人委員会公益法人専門委員会専門委員）		会計 (コード：2106)	3単位

【2023年度今後の研修会予定】 2023年11月15日現在の情報です。最新情報は埼玉会WEBサイトをご確認ください。

実施日	※	テ	マ	講	師	項	目
1月24日 (水)	L	新春研修会①	【中小企業マイスター研修会】 中小企業こそSDGs達成の担い手に ～取り組み手順と公認会計士に期待される役割～	日景聡（中小企業診断士）		コンサルティング (コード：5125)	2単位
1月24日 (水)	L	新春研修会②	財務省関東財務局長による講話	伊野彰洋（財務省関東財務局長）		組織環境 (コード：6401)	1単位
1月29日 (月)	D	【IT研修会】	インボイス制度の開始に向けたデジタルインボイスの理解と活用（東京会 2023年5月11日開催）	中村元彦（公認会計士）		組織環境 (コード：6203)	2単位
1月29日 (月)	D	【IT研修会】	ITインシデント事例から考える中小会計事務所/個人会計士の事業経営に必要なIT環境とセキュリティ（東京会 2023年8月25日開催）	松本達之、三田浩史（2022年度IT委員会委員）		組織環境 (コード：6303)	2単位
2月2日 (金)	D	【税務業務部会租税相談員研修会】	租税争訟の実務と事例研究（本部 2023年8月21日開催）	福住豊（税理士、東京国際大学特任教授）		必須・税務 (コード：4091)	1.5単位
2月2日 (金)	D	【倫理研修会】	組織内会計士・社外役員会計士の職業倫理がますます強化へ ～職業倫理を公認会計士の価値向上につなげよう～ (2022年度)（東京会 2022年11月5日開催）	脇一郎（公認会計士）		必須・倫理 (コード：4501)	2単位

※L：LIVE研修会 D：DVD研修会

履修結果を申告しましょう

—CPD義務達成に向けて—

✓申告もれはありませんか？

2023年4月1日から履修したもので、申告がお済みでないものはありませんか？

✓必要な単位数に到達していますか？

次のいずれをも満たす単位数以上を履修し申告する必要があります。

1. 当該事業年度を含む直前3事業年度合計 120単位
2. 当該事業年度最低 20単位
3. 当該事業年度の必須単位数

✓必須単位数は履修・申告しましたか？

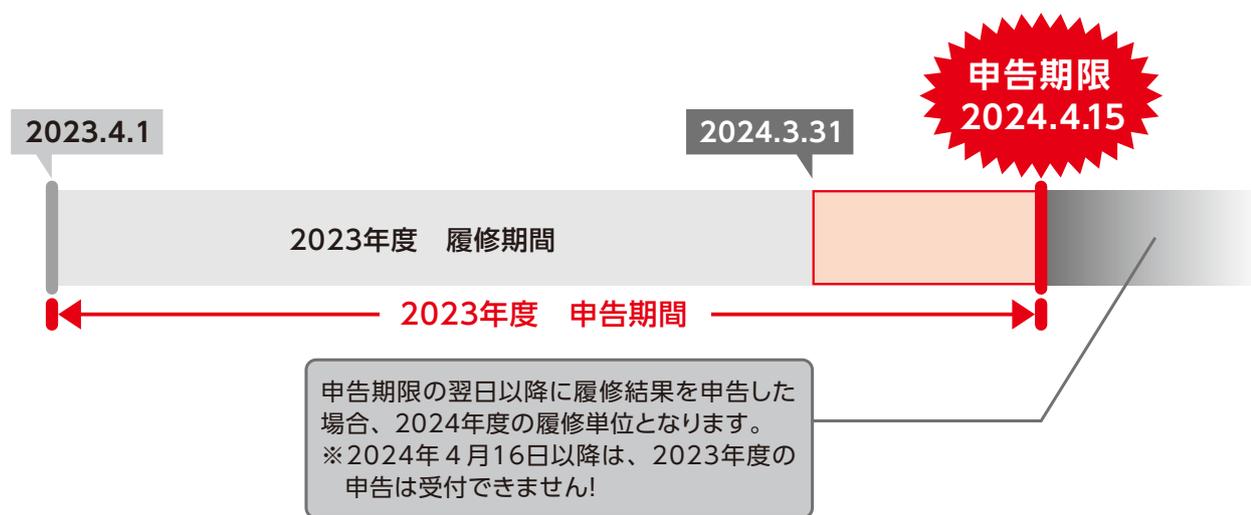
必要な単位数として、次の必須単位数を履修し申告しなければなりません。

- ・全会員(免除の承認を受けた会員を除く)…………… 「職業倫理」 2単位
「税 務」 2単位

加えて

- ・法定監査業務に従事する会員…………… 「監査の品質及び不正リスク対応」 6単位
(うち2単位以上は不正事例に該当する研修とする。)

2023年4月1日から2024年3月31日までの履修結果のうち、申告がお済みでないものについては、**2024年4月15日**までに申告してください。



！ご注意ください

※eラーニング、教材での受講については、2024年3月31日までに受講が完了したものが履修結果として反映されます。2024年4月1日以降受講したものについては2024年度の履修結果に反映されますのでご注意ください。

2023年度

中間事業報告及び活動報告（7月～12月）

7月3日（月）中小企業活性化協議会全体会議（出席）

7月4日（火）埼玉友好士業協議会定例会（出席）

7月6日（木）第3回総務委員会（リモート会議）

審議事項

1. 職員採用に関する件

協議事項

1. 埼玉会規約規程及び細則の見直しに関する件

報告事項

1. 第8回定期総会及び懇親会に関する件

7月7日（金）会計・監査ジャーナル別冊打合せ（リモート会議）

7月7日（金）第1回中小企業支援対応専門委員会（会場及びリモート会議）

7月10日（月）関東財務局長新任のご挨拶来会

7月13日（木）第3回正副会長・常任幹事会（会場及びリモート会議）

会長報告

1. 地域会会長会議に関する件
2. 本部理事会に関する件

審議事項

1. 専門委員会委員の就任に関する件
2. 広報委員会の特別委員会委員の就任に関する件
3. 埼玉会事務局職員採用に関する件

協議事項

1. 埼玉会規約及び細則等に関する件

報告事項

1. 各種委員会報告

7月15日（土）第5回中小企業マイスター研修会企画PT（対面形式）

7月19日（水）第1回公会計専門委員会（リモート会議）

7月19日（水）関東信越税理士会埼玉県支部連合会第71回県連定期総会の祝賀に出席

7月20日（木）第4回厚生委員会（リモート会議）

議題

1. スリーデーマーチに関する件
2. 親睦旅行に関する件
3. 親睦ゴルフ会に関する件
4. 忘年懇親会に関する件

7月24日（月）第3回役員会（会場及びリモート会議）

会長報告

1. 地域会会長会議の議事内容に関する件
2. 本部理事会等の議事内容に関する件

審議事項

1. 埼玉会事務局職員採用に関する件
2. 埼玉会次期事務局長の就任に関する件

協議事項

なし

報告事項

1. 埼玉会各種活動状況に関する件
2. 本部各種委員会及び東京会各種委員会の活動報告に関する件

3. 埼玉会会員の推薦状況に関する件

7月25日（火）第1回公益法人等専門委員会（リモート会議）

7月29日（土）ハロー！会計サマースクール（対面形式）

8月1日（火）第4回総務委員会（リモート会議）

審議事項

1. 選挙管理委員会の委員構成の変更に関する件

協議事項

1. 埼玉会規約及び細則等に関する件

報告事項

1. 昨年1年間の役員会及び正副会長・常任幹事会の出席率に関する件

8月2日（水）第1回研修委員会（リモート会議）

議題

1. 2024年度の研修企画に関する件
2. 研修企画特別委員会に関する件
3. 研修委員会の役割分担に関する件

8月2日（水）第1回社会福祉法人専門委員会（リモート会議）

8月4日（金）第4回正副会長・常任幹事会（会場及びリモート会議）

会長報告

1. 地域会会長会議に関する件
2. 本部理事会に関する件

審議事項

1. 選挙管理委員会の委員構成の変更に関する件
2. ハロー！会計・制度説明特別委員会委員就任に関する件
3. 研修企画特別委員会委員就任に関する件
4. 専門委員会委員就任に関する件

協議事項

なし

報告事項

1. 各種委員会報告

8月8日（火）第6回中小企業マイスター研修会企画PT（対面形式）

8月18日（金）第5回厚生委員会（対面形式）

議題

1. 親睦旅行に関する件
2. 組織内会計士ネットワークの会に関する件
3. 青年部に関する件
4. 忘年懇親会に関する件
5. 新年賀詞交歓会の二次会に関する件
6. スリーデーマーチに関する件
7. 親睦ゴルフ会に関する件
8. 同好会に関する件

8月29日（火）第1回税務専門委員会（会場及びリモート会議）

9月1日（金）第5回総務委員会（リモート会議）

審議事項

なし

協議事項

1. 新年賀詞交歓会に関する件

2. mitoco導入に関する件
3. 埼玉会規約及び細則等に関する件

報告事項

なし

9月4日(月)暮らしと事業のよろず相談に係るさいたま市長表敬訪問

9月6日(水)埼玉県福祉監査課へ訪問

9月7日(木)さいたま市監査指導課へ訪問

9月11日(月)関東財務局表敬訪問

9月11日(月)第5回正副会長・常任幹事会(会場及びリモート会議)

会長報告

1. 地域会会長会議に関する件
2. 本部理事会に関する件

審議事項

1. 親睦旅行に関する件
2. 年末研修会講師謝礼に関する件

協議事項

1. 総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業のアドバイザー登録に関する件

報告事項

1. 各種委員会報告

9月13日(水)埼玉友好士業協議会第2回幹事会(出席)

9月14日(木)第1回NPO法人専門委員会(会場及びリモート会議)

9月15日(金)～17日(日)親睦旅行(広島県)

9月19日(火)埼玉弁護士会来会若手の会員同士の交流会の提案

9月26日(火)第4回役員会(会場及びリモート会議)

会長報告

1. 地域会会長会議の議事内容に関する件
2. 本部理事会等の議事内容に関する件

審議事項

1. 選挙管理委員会の委員構成の変更に関する件
2. 年末研修会講師謝礼に関する件

協議事項

なし

報告事項

1. 埼玉会各種活動状況に関する件
2. 本部各種委員会及び東京会各種委員会の活動報告に関する件
3. 埼玉会会員の推薦状況に関する件

9月27日(水)関東財務局との連絡会(出席)

9月29日(金)関弁連定期弁護士大会懇親会(出席)

10月2日(月)第6回総務委員会(リモート会議)

審議事項

1. 相談役の就任の委嘱に関する件

協議事項

1. 新年賀詞交歓会に関する件
2. mitoco導入に関する件
3. 埼玉会規約及び細則等に関する件

報告事項

なし

10月3日(火)埼玉会主催親睦ゴルフ会(霞ヶ関カンツリー倶楽部)

10月3日(火)第1回SAITAMA CPA NEWS特別委員会(リモート会議)

10月10日(火)第6回正副会長・常任幹事会(会場及びリモート会議)

会長報告

1. 地域会会長会議に関する件
2. 本部理事会に関する件

審議事項

1. 相談役の就任の委嘱に関する件
2. 研究大会札幌大会参加者への補助に関する件

協議事項

なし

報告事項

1. 各種委員会報告

10月11日(水)第7回中小企業マイスター研修会企画PT(対面形式)

10月17日(火)第2回公益法人等専門委員会(リモート会議)

10月18日(水)第6回厚生委員会(会場及びリモート会議)

議題

1. スリーデーマーチに関する件
2. 忘年懇親会に関する件
3. 新年賀詞交歓会の二次会に関する件
4. 次年度事業計画案及び予算案に関する件
5. 青年部に関する件
6. 組織内会計士ネットワークの会に関する件

10月19日(木)埼玉県知事表敬訪問

10月20日(金)駿河台大学公認会計士制度説明会(対面形式)

10月20日(金)第8回中小企業マイスター研修会企画PT(対面形式)

10月23日(月)第1回業務委員会(対面形式)

1. 埼玉会友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」に関する件
2. 弁護士会との若手交流会に関する件
3. 中小企業支援コンベンション開催に伴うPT設置と開催内容に関する件
4. 来年度予算に関する件
5. 外部関係会議日程に関する件

10月24日(火)第1回将棋同好会

10月27日(金)第1回写真同好会

10月28日(土)淑徳与野中学校公認会計士制度説明会(対面形式)

10月30日(月)関東信越国税不服審判所及び関東信越国税局表敬訪問

10月31日(火)第59回埼玉県商工会議所議員大会懇親会(出席)

11月1日(水) 第7回総務委員会(リモート会議)

審議事項

1. 在住会員入会に関する件

協議事項

1. 新年賀詞交歓会に関する件
2. 次年度事業計画案及び予算案に関する件
3. 埼玉会規約及び細則等に関する件

報告事項

なし

11月4日(土) 暮らしと事業のよろず相談会
(相談員派遣)

11月5日(日) 第46回日本スリーデーマーチ(参加)

11月6日(月) 埼玉県中小企業診断協会「中小企業診断士の日記念イベント」(出席)

11月7日(火) 東京会主催第9回慶寿会(出席)

11月7日(火) 第2回研修委員会(リモート会議)

議題

1. 研修企画に関する件
2. 研修企画特別委員会の開催に関する件
3. 研修委員会の役割分担他に関する件

11月7日(火) 中間監事監査

11月7日(火) 第7回正副会長・常任幹事会
(会場及びリモート会議)

会長報告

1. 地域会会長会議に関する件
2. 本部理事会に関する件

審議事項

1. 在住会員入会に関する件
2. 中小企業支援コンベンションPT設置に関する件
3. 中小企業支援コンベンションPT構成員就任に関する件
4. Web年賀状について

協議事項

1. 本部組織内会計士ネットワークサポート委員から地域会への提案に関する件

報告事項

1. 各種委員会報告

11月8日(水) 社会福祉法人専門委員会「行政との会計に関する交流会」(会場及びリモート会議)

11月10日(金) 第1回青年部懇親会

11月10日(金) 埼玉県事業承継ネットワーク全体会議
(出席)

11月14日(火) 第7回厚生委員会(リモート会議)

議題

1. 組織内会計士ネットワークの会に関する件
2. 次年度事業計画案及び予算案に関する件
3. 忘年懇親会に関する件
4. 親睦旅行に関する件

11月15日(水) 第1回医療法人専門委員会
(リモート会議)

11月20日(月) 第1回学校法人専門委員会
(リモート会議)

11月21日(火) 第20回彩の国中小企業支援ネットワーク
会議(出席)

11月22日(水) 埼玉会組織内会計士ネットワークの会
懇親会

11月24日(金) 獨協大学寄付講座「会計学」

11月27日(月) 第5回役員会(会場及びリモート会議)

会長報告

1. 地域会会長会議の議事内容に関する件
2. 本部理事会等の議事内容に関する件

審議事項

1. 相談役の就任の委嘱に関する件
2. 在住会員入会に関する件
3. 中小企業支援コンベンションPTに関する件
4. 事務局関連に関する件
5. 役員の退任に伴う補充に関する件

協議事項

なし

報告事項

1. 埼玉会各種活動状況に関する件
2. 本部各種委員会及び東京会各種委員会の活動報告に関する件
3. 埼玉会会員の推薦状況に関する件

11月28日(火) 第9回中小企業マイスター研修会企画PT
(対面形式)

12月1日(金) 第8回総務委員会(リモート会議)

審議事項

なし

協議事項

1. 新年賀詞交歓会に関する件
2. 次年度基本方針及び重点施策案に関する件
3. 埼玉会規約及び細則等に関する件

報告事項

1. 埼玉会名刺発注に関する件
2. mitocoに関する件

12月4日(月) 第2回SAITAMA CPA NEWS編集会議
(リモート会議)

12月5日(火) 神奈川県会10周年記念講演会(出席)

12月7日(木) 獨協大学寄付講座「会計学原理」

12月9日(土) 忘年懇親会

12月11日(月) 第8回正副会長・常任幹事会
(会場及びリモート会議)

会長報告

1. 地域会会長会議に関する件
2. 本部理事会に関する件

審議事項

なし

協議事項

1. 次年度事業計画案に関する件
2. 次年度予算案に関する件

報告事項

1. 各種委員会報告

12月17日(日) 埼玉会主催高校生向けオンライン
公認会計士紹介講座

12月21日(木) 第3回公益法人等専門委員会
(リモート会議)

以上

関東財務局長への挨拶訪問

土屋会長、佐久間副会長、飯野副会長、中澤副会長、清水事務局長、菅野次長及び大塚の7名で、9月11日（月）に伊野彰洋関東財務局長への挨拶訪問をしました。関東財務局側のご同席は、田村理財部長、中村理財部次長、萬場金融監督官、高橋理財第二課長、草薙金融調整官でした。

土屋会長からは中小企業支援や会計基礎教育などの埼玉会の活動について説明申し上げ、その後意見交換が行われました。また、来年度に実施を予定している中小企業支援コンベンションについて、前回に引き続きご協力いただきたい旨を申し上げました。

限られた時間でしたが、今回も貴重な意見交換と親睦が図られ、大変有意義な訪問となりました。（大塚 健一）



埼玉県知事表敬訪問

土屋会長、小山相談役、大塚副会長及び佐久間の4名と清水事務局長、菅野次長で、10月19日（木）9時30分に埼玉県の県庁に大野元裕知事を表敬訪問いたしました。県庁側からは、県監査事務局の西村朗事務局長が同席されました。大野知事は埼玉県庁のDX化を推進しており、知事室には複数の大型ディスプレイと多くのパソコンがありました。通常は紙面での説明は禁止ですが、埼玉会から持参したパンフレットと会報のSAITAMA CPA NEWSを用いて土屋会長が埼玉会の会務について説明をし、大野知事は快くお聞きになっておられました。そして、大野知事からは、県政に対する埼玉会の様々な支援について感謝のお言葉を頂戴いたしました。和やかな意見交換の後、埼玉県と埼玉会とが良好な関係が継続されるように相互に確認し合い、表敬訪問は終了しました。あらためて公認会計士が社会に貢献するためには何が必要かについて考える場ともなり、有意義な表敬訪問であったと思います。

（佐久間仁志）



関東信越国税局長表敬訪問

例年お伺いさせていただいております木村秀美関東信越国税局長を10月30日に表敬訪問させていただきました。当年度も東京会との合同でのご訪問となりまして、東京会からは八木会長をはじめ4名の方々、埼玉会からは、土屋会長、佐久間副会長、中村常任幹事及び常任幹事の森山でお伺いさせていただきました。当日は日本公認会計士協会としての租税施策の内容及、実施した研修会を含む税務業務に関する各種活動の状況、税務業務部会等の活動などについて、東京会と埼玉会からそれぞれご説明をさせていただきました。

貴重なお話をお伺いすることができ、また、同日に開催の研修会についてご協力いただいていることについてもお礼を申し上げるとともに、継続的なご協力をお願いすることもできまして大変有意義な訪問となりました。（森山 謙一）



関東信越国税不服審判所所長表敬訪問

10月30日に山根英一郎関東信越国税不服審判所所長を表敬訪問させていただきました。昨年度と同様に東京会との合同の形式でご訪問させていただきました。東京会からは八木会長をはじめ4名の方々、埼玉会からは、土屋会長、佐久間副会長、中村常任幹事及び常任幹事の森山での訪問となりました。当日は日本公認会計士協会としての租税施策の内容及、実施した研修会を含む税務業務に関する各種活動の状況、税務業務部会等の活動などについて、東京会と埼玉会からそれぞれご説明をさせていただきました。

所長様のご新任にあわせてのご挨拶をさせていただくとともに、限られた時間ではございましたが貴重なお話をお伺いすることができ、大変有意義な訪問となりました。（森山 謙一）



親睦旅行

広島での親睦旅行が2023年9月15～17日の2泊3日で催行されました。前回の親睦旅行が2019年9月でしたので、実に4年ぶりです。

G7広島サミットが5月に開催された直後ということもあり、各国の首脳が訪れた地を中心に広島の歴史を巡り、世界平和を願いながら親睦を深める旅になりました。

1日目は新幹線での移動と広島市内の観光です。広島城、原爆ドーム、平和記念資料館を見学し、広島の歴史を学びながら、戦争・核兵器の悲惨さを再認識しました。夕食は芸州本店で広島・瀬戸内料理や地酒に舌鼓を打ち、二次会ではカラオケに移動して大いに盛り上がり、年代を問わず親睦を深めました。

2日目は日中はゴルフ組と観光組に分かれての行動です。ゴルフ組は眼下に岩国市街地から瀬戸内海を見下ろす高台にある和木ゴルフクラブでプレーを楽しみ、観光組は観光バスでゆったりと移動しながら厳島神社・錦帯橋を巡り、荘厳な神社、風光明媚な景観、伝統の技や文化継承の歴史を肌で感じました。夕食は居酒屋「みやまえ離れ」にて牡蠣やウニホールン（新興のB級グルメ）にワインや地酒を合わせて楽しみ、最後の夜を賑やかに過ごしました。

最終日の3日目は呉市のでつにくじら館・大和ミュージアムにて海上自衛隊や国防の歴史に圧倒され、昼食でG7サミットのメイン会場であるグランドプリンスホテル広島にて瀬戸内海を一望しながらフレンチのコースを楽しんだ後、帰路につきました。

(青山 裕之)



埼玉会主催親睦ゴルフ会

昨年10月3日、東京オリンピックの試合会場となった名門霞が関カンツリー倶楽部において、ゴルフ同好会主催によるゴルフコンペが開催され19名の先生が参加されました。名門コースということで皆様に関心をもっていただき、申込開始から2週間で定員となり、その後も問い合わせを何件もいただきましたが、ご希望に沿えなかった先生方には大変申し訳ございませんでした。

10月に入っても連日暑さが続くなか歩いてのラウンドでしたが、湿度が低く比較的爽やかな気候で、暑さを言い訳にできないゴルフ日和でした。

名門コース故、ドレスコードやマナーに厳しいであろうと大変緊張してスタートしましたが、キャディーさんは親切で、同じ組の杉山先生・本澤先生との会話も楽しく、とても印象に残るラウンドになりました。

土屋会長が体調不良でご参加できなかったのは大変残念でしたが、幹事の池田先生のご尽力と他の先生方が表彰式・懇親会を盛り上げてくださったおかげで、参加した皆様も楽しんでいただけた1日となりました。

今回の親睦ゴルフ開催にあたり霞が関カンツリー倶楽部の神山敏夫先生にはコンペの開催を紹介いただいたことを改めてお礼申し上げます。

埼玉会ゴルフ同好会では会員の先生方のご協力をいただきながら、今後も楽しんでいただける企画を検討してまいりますので、ぜひ皆様の参加・同好会へのご入会をお待ちしております。

(コンペ結果 優勝：石久保善之先生、準優勝：野口和弘先生、3位：本澤佐知子先生、ベストグロ：深谷豊先生)

(鎌田 竜彦)



日本スリーデーマーチ

11月5日日曜日、埼玉県東松山市を中心とした自然豊かな比企丘陵を舞台に繰り広げられる国際ウォーキングの祭典「日本スリーデーマーチ」に土屋会長以下、総勢18名の会員ご家族、事務局員ご家族で今年も参加してまいりました。例年と同じ10キロコース（実測は13キロ）にエントリーし、好天にも恵まれ、さわやかな汗をかいてまいりました。

終了後は、名物特製みそだれで食す焼き鳥店で懇親会を開催しました。冒頭、小山元会長から昨年お亡くなりになられた真下元会長の企画で始まった本大会への参加経緯のご説明があり、真下元会長を偲びつつ、和やかに、最後は大盛り上がりで会は終了しました。真下先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(飯野 浩一)

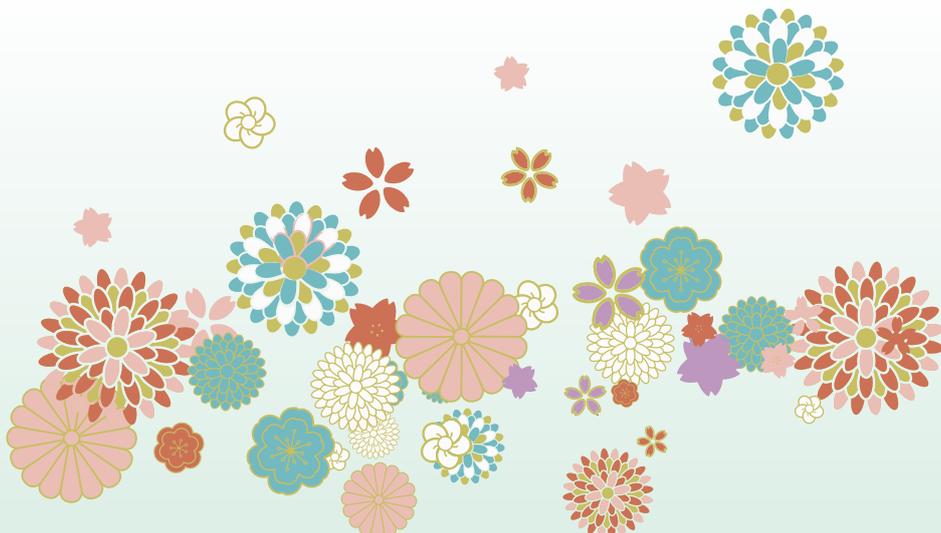


暮らしと事業のよろず相談会

2023年11月4日（土）に浦和のコレソで開催された「暮らしと事業のよろず相談会」に、埼玉会からは私含め業務担当副会長の佐久間先生、業務担当幹事の藤原先生、細田先生の4名で参加いたしました。

コロナ禍終息後初めての開催ということで、開始前から大勢の相談者にご来場いただき、相談者数は前回は大幅に上回る170名超となりました。よろず相談会は、主に埼玉の士業の方々が、暮らしと事業に関する相談者の悩みにお答えします。相談内容は、当番会である日本弁理士会関東会の皆様に振り分けていただきました。本年のインボイス対応等もあり税理士会のブースは常に相談者で埋まっていました。一方で、我々が受けた相談は、「事業」としては地方公共団体からのご相談が、「暮らし」としては個人からのご相談がありました。全体の相談者を見ると、比較的個人の相談者が多い印象があり、会計士に振り分けられる相談者の数は、税理士に比べると少ないという印象でした。また、相談会後には懇親会も開催され、埼玉の士業の方々と交流も深められました。ありがとうございました。

(小林 正和)



年末研修会及び忘年懇親会

2023年12月9日（土）に年末研修会を開催しました。

研修テーマは「女性経営者に聞く！公認会計士のためのブランドイメージ向上研修会」で、2部構成の1部はリモート併用でイメージコンサルティングについて、2部は研修会場来会者のみでブランディングワークという内容で、講師にBrilliant Impression株式会社代表取締役の森内真希様をお招きしました。

1部のイメージコンサルティングでは、男性及び女性別にスーツの着こなしのルール等についてお話しいただき、2部のブランディングワークでは各自の価値観について意見交換等を行い、大変有意義な研修会でした。

また、同日に木曽路大宮店で忘年懇親会を開催しました。土屋会長の挨拶に始まり、乾杯は西川正純相談役、指名制による複数の会員の自己紹介と進み、締めは荒井伸夫相談役でした。50名程の会員が集まり、美味しいお酒やすき焼きなどを堪能しました。



(中澤 仁之)



協会本部より

第45回研究大会 研究発表の募集について

メインテーマ：破壊、創造、継承。前例踏襲を打ち破れ。

～VUCAの時代に公認会計士が取り組むべき課題～

開催日：2024年9月12日（木）

会場：名古屋 Marriott アソシアホテル（愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1-4）

【研究発表募集要領（一部抜粋）】

応募資格	会員・準会員及び一般有志
募集テーマ	原則として、メインテーマ「破壊、創造、継承。前例踏襲を打ち破れ。～VUCAの時代に公認会計士が取り組むべき課題～」に関連するテーマ
募集内容	(1) テーマ及び発表者（パネリスト）の募集 ① 研究論文による発表 ② パネルディスカッション形式による発表 (2) テーマの募集 ～フリーディスカッション形式による発表
応募及び推薦締切日	2024年2月29日（木）（必着）
問合せ先	日本公認会計士協会事務運営戦略本部研修グループ (企画運営) 継続的専門能力開発制度協議会・東海会研究大会実行委員会

▶ 詳細は JICPA ニュースレター12月号（12月1日発行）、CPD LETTER11月号（11月15日発行）をご覧ください。

中小企業マイスター研修 第2回～第6回開催報告

中小企業マイスター研修について、次の日程にて開催いたしました。第2回目は6月19日（月）に「中小企業税制（所得拡大税制）」をテーマとして大場智税理士にご講演、第3回目は7月15日（土）に「労務・ハラスメント問題」をテーマとして菅原芳裕社会保険労務士にご講演、第4回目は8月8日（火）に「中小企業支援施策及び地域の声」をテーマとして埼玉県庁の上野暁氏のご講演及びグループワークの実施、第5回目は10月11日（水）に「地域連携など」のテーマとして関東財務局野呂美奈子氏及び関東経済産業局杉原総一郎氏にご講演、第6回目は10月20日（金）に「顧問先の危機対応」をテーマに坂部達夫税理士にご講演をいただきました。

目まぐるしく変化する中小企業を取り巻くビジネス環境下において、いずれのテーマも公認会計士として押さえておきたいテーマを取り上げております。現地及びオンラインによるハイブリット型の参加を可能としたこともあり、どの回も30名を超える受講をいただき会員のみなさまのニーズの高さが伺えました。引き続き、ご参加の程よろしく願いいたします。

（渡邊 靖雄）

中小企業支援 事例紹介

中小企業支援の現場では我々公認会計士が多様な活躍をしているものの、その認知度はあまり高いものとは言えないのが現状です。そこで、中小企業支援に取り組む会員の紹介や情報提供をすることで、行政や金融機関、他士業との連携を促すとともに、公認会計士の方々の業務領域を広げる機会を提供できればと考え埼玉会の会員が実際に行っている業務を紹介いたします。

今回は再生支援業務に取り組んでいる武田祐太郎先生にインタビューを行いました。

Q 今取り組んでいる業務の内容について教えてください。

A 私が取り組んでいるのは、中小企業の事業再生です。具体的には、コロナ等の要因により業績が悪化し、金融機関等に対する借入金の返済が通常の約定通りに行っていない会社に対して、外部の専門家として財務の状況を調査し、その結果を関係者（主に金融機関）に報告します。その後調査結果に基づいた実態をベースに計画策定を支援する業務です。対象企業は上記の調査・計画策定が完了するまで返済猶予を受けられ、さらに計画が同意されれば、計画内容に応じた返済スケジュール（返済猶予や少額返済）が可能となるため、資金繰りの改善等が図られます。

作業期間としては、調査に3か月程度（その間に他の業務も実施しているため、詰めれば作業量としては1か月程度）、計画策定に2か月程度かかるので、関係者の調整等も含め、1プロジェクトで6か月くらいかかっている印象です。

Q この業務はどのような経緯で行うことになったのですか？

A 埼玉会の中小企業支援対応専門委員会と中小企業活性化協議会（以下、活性協）が2022年より連携事業の一環で、活性協に相談のきた案件のうちの一部が埼玉会を通じてご紹介いただいています。

当該連携事業では中小企業診断協会とも連携しているため、事業面は中小企業診断士が担当し、財務面を我々会計士が担当しています。

また当該連携事業は、各案件に対し経験者と経験の浅いそれぞれの専門家の2名体制でチームを編成します。これは当該連携事業が、各士業内で事業再生の専門家を育成することが狙いでもあるためです。

Q 実際に業務を行う中で悩んだことや業務を終えて得られた気付きや反省点などあれば教えてください。

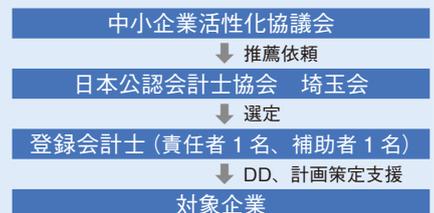
A 我々は数字の専門家なので数字で語ることが多いですが、中小企業の経営者たちは技術やセンスで経営をされている方も多いため、数字で計画等の方向性を説明しても中々ご納得いただけなかったりするときはその調整だけで1か月以上の時間を要したりすることもあります。また、再生対象となる中小企業の場合、経理等の管理部門が脆弱である場合が多く、財務調査等の際の資料収集にとても苦労します。

それでも最終的に計画が同意されたときや、ある程度方向性が見えたときなどは感謝されることが多いので、この仕事のやりがいにもつながっています。

Q これから取り組んでみたいと考えている会員の先生にアドバイス・メッセージをお願いします。

A 再生と聞くと大変そうと思われるかもしれませんが、実際に泥臭いことが多く大変です。ですが、財務に限らず経営全体を理解しないと、窮境要因の調査や改善計画の策定支援は難しくなってきます。また中小企業の再生支援では、所有と経営が一致していることが多く、会社の業績悪化は最終的に経営者が責任を負うことが多いです。そのため、一般論でのコンサルティングを行うことも大切ですが、経営者の立場になって、事業の存続・雇用の維持、また、経営者の財産の保全（どうすれば財産を多く残せるのか）を意識してコンサルティングを行うようにします。そういう意味では、規模は小さいですが、経営者目線でのコンサルティングが必要になるため、経営コンサルティングに近いのではないかと考えています。会計士を目指した方の中には経営コンサルに憧れている方も多かったのではないのでしょうか。そういう方はぜひ一度はチャレンジしてみてください。

（鈴木 雅也）



ハロー！会計

2023年7月29日（土）に「ハロー！会計サマースクール」を開催しました。

長岡常任幹事の司会進行により、土屋会長にご挨拶をいただいた後、「カンサってなぁに？公認会計士のお仕事体験！」を実施しました。社長役として柴田会員、テーブルコーチとして高畑会員、織田会員、安保会員、馬場会員、武田会員にご協力いただき、講師は大川が担当しました。

小学4～6年生がジュニア公認会計士になって監査を体験することで、会計のルールや監査のキホンを学びました。

アンケート結果では、「公認会計士に興味を持った」、「次回も参加したい」、「友人にも薦めたい」という回答があり、会計の面白さをお伝えできたと思います。

当日の運営にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



(大川 千仁)

駿河台大学公認会計士制度説明会

2023年10月20日（金）に、駿河台大学経済経営学部 市川紀子教授が担当されている簿記原理IIの講義時間をお借りし、公認会計士制度説明会を開催しました。ここ数年は新型コロナウイルスの影響でオンライン開催であったため、対面での開催は4年振りとなりました。長岡常任幹事司会のもと、大塚副会長よりご挨拶をいただき、私織田より公認会計士の仕事や試験制度について説明しました。その後、合格体験談として、駿河台大学の卒業生である船津丸会員、木村会員に、ご自身の学生生活や受験生活、試験合格後のキャリア、公認会計士の魅力等についてユーモアたっぷりにお話しいただきました。学生たちも興味深く話を聞いており、実際に公認会計士を目指そうと思った学生もいたようで、有意義な説明会となったかと思えます。市川教授をはじめ、開催にご尽力いただきました皆様に御礼を申し上げます。



(織田 智美)

淑徳与野中学校公認会計士制度説明会

2023年10月28日土曜日、淑徳与野中学校のキャリア教育の一貫である「公認会計士講座」に参加し、中学生の皆さんに公認会計士の魅力や試験制度等をご説明しました。1年生15名（1学年の10%強）、2年生11名、3年生4名の合計30名にご参加いただきました。冒頭で大塚副会長から皆さんに挨拶をし、次に高畑が公認会計士制度と試験制度についてご説明しました。その後織田会員から皆さんに受験や実際の業務内容、ワークライフバランスについてお話ししました。説明中には多くの生徒さんがメモをする姿が見られ、質疑応答も非常に活発で、説明会後には織田会員に直接質問をしたい生徒さんが順番待ちをする光景もみられました。公認会計士になってみたい、将来の候補の一つにしたいというアンケート結果も得られました。今後も未来を担う皆さんのキャリアの選択肢を広げられるよう、引き続き開催したいと改めて感じました。



(高畑 明久)

獨協大学寄附講座

11月24日（金）及び12月7日（木）の両日、獨協大学経済学部の松原沙織教授が御担当する会計学と会計学原理にて寄附講座を実施させていただきました。

11月24日（金）は会計学の1コマを頂戴し、「IPOと会計（身近な税務論点も交えて）」について講義させていただきました。基礎的な簿記の知識をお持ちとのことでしたので、学生の皆さんがアルバイトをしていた場合、会社ではどのように会計処理をして決算書に反映されてくるのか、税金はどのように処理されているのかという点から、それらの会社がIPOを目指した場合の会計に関連する事項をお話させていただきました。

12月7日（木）は会計学原理の1コマを頂戴し、「IPO監査と不正」について講義させていただきました。監査の必要性からIPOの説明、IPO監査での留意点を学生の皆さんの会計知識に合わせるようお話する点が難しかったものの、不正につきましては実際の事例であることもあって興味深く聞いてくださいました。

（高畑 明久）



高校生向け公認会計士紹介講座（オンラインセミナー）

2023年12月17日（日）にオンラインにて、高校生向け公認会計士紹介講座を開催しました。まずは大塚から「公認会計士の活躍フィールド」「公認会計士試験の概要」「公認会計士の魅力」の3つのテーマごとに皆様に説明し、その後パネラーの高畑会員、織田会員、元田会員がテーマに沿った内容の質問に回答していく形で進行了ました。

高校生の皆様からは多くの質問が寄せられ、公認会計士に対する関心の高さが窺えました。また、セミナー後のアンケートでは「実際に働いている公認会計士の方からの話を聞いてよかった」「公認会計士の仕事内容ややりがいなど多くのことを知ることができた」など沢山の回答をいただきました。準備に尽力してくださった皆様、誠にありがとうございました。

（大塚 健一）



SAITAMA CPA NEWS 表紙写真を募集します！

SAITAMA CPA NEWSの表紙を飾る写真を公募しております。
ぜひあなたの作品をご提供ください。よろしくお願いいたします。

- ・「SAITAMA CPA NEWS」表紙掲載にあたり県内で撮影された写真をお願いします。
（人物が写る場合は個人が特定できないもの）
- ・ご応募多数の場合は広報委員会でセレクトさせていただきます。
- ・採用された場合は氏名を掲載させていただきます。ペンネームでも可能です。



写真の仕様について

表紙はA4サイズですので、解像度の高いもの、スマホ以外のカメラで撮影したものを加工せずにご提供ください。なお、明るさ、コントラストなど調整する場合がありますのでご了承ください。

- ・ご応募はメール（saitama@sec.jicpa.or.jp）にてお願いします。
- ・提出期日は6/16（日）迄とします。

※メールは20メガ以上の場合は受信ができない可能性がございます。ご提出1週間以内に返信メールをお送りしますが、メールが届かない場合はお問い合わせをお願いします。個別に他の方法（ストレージサービス等）でご提出いただくように対応させていただきます。

青年部より（懇親会）

昨年11月10日（金）に青年部懇親会が浦和にて開催され、当日は19名の青年部会員に参加いただきました。buffeスタイルによるフランクな会でしたので、多くの会員と会話ができ親交を深めることができました。独立開業している先生だけでなく、事業会社や監査法人に勤める方もいるなど、活躍しているフィールドは多種多様で話を聞くだけでも刺激を受ける貴重な時間となりました。監査や税務、コンサル、M&Aなど各々の専門領域で活躍されている先生がいる中で、独立開業間もない先生にとっては横の繋がりを深める良い機会になったと思います。また、自ら経営者としてビジネスを展開されている先生も複数参加され、それぞれの悩みを共有しつつお互いに経営のヒントを得るなど、各参加者がそれぞれ有意義な時間を過ごせたのではないのでしょうか。

前はコロナ禍前の開催でしたので数年ぶりの開催となりましたが、今回参加できなかった若手の先生方にも次回は奮ってご参加いただきたいと思います。

（鈴木 雅也）



組織内会計士ネットワークの会 2023年懇親会

2023年11月22日（水）に、組織内会計士ネットワークの会の2023年懇親会を浦和の和食店で開催いたしました。

当日集まった埼玉会の組織内会計士は4名で、上場会社の経理部長、プロスポーツリーグの経理メンバー、上場会社の常勤監査役や社外監査役をされている方など、多彩な顔ぶれで、正に組織内会計士ネットワークの会に相応しい貴重な情報交換や人脈形成の場になりました。

埼玉会では、年1回懇親会を開催していますが、大変貴重な機会なので、今後とも、組織内会計士の皆様には奮ってご参加いただきたく考えています。

（藤原 康弘）



巡回研修会所沢大会

2023年11月25日（土）に所沢ノードにて巡回研修会所沢大会が開催されました。巡回研修は2019年11月に川越で開催して以来となりますので4年ぶりの実施となります。

研修会には20名が参加し、1限目は所沢で活動する織田会員による新リース会計基準、2限目は同じく所沢で活動する小職がインボイス制度をテーマにそれぞれ解説を行いました。

研修の冒頭でアイスブレイクとして再開が各地で進む所沢の街並み紹介をして本題へ。

新リース会計基準はまだ公開草案の段階ですが、財務諸表に大きな影響を与える可能性があることから、有益な情報を先取りする形で出席者に提供することができました。また、後半のインボイス制度は、最近顧問先からよく聞かれる質問などを題材にして、施行後間もない制度への対応状況などを出席者と共有しました。

研修会終了後は近くの居酒屋にて懇親会を実施し、所沢在住または所沢に縁のある会員も多く参加する中、狭山茶を使ったお酒など地元の名産を扱ったメニューを楽しんでもらいながら大盛況のうちに幕を閉じました。

来年の巡回研修は越谷にて開催予定です。

（鈴木 雅也）



■ 青年部 部員紹介 ■

埼玉会青年部は49歳以下の埼玉会会員により構成される組織で、部員の懇親のための場の提供や有志の勉強会などを行っています。ここ数年はコロナ禍のため活動に制約がありましたが、今後は状況を見ながら以前のような活動をしていきます。

青年部からの連絡を希望される方は、メーリングリストへの登録をお願いします。埼玉会事務局 (saitama@sec.jicpa.or.jp) まで「青年部登録希望」の旨のメール送付をお願いいたします。在住会員もご参加いただけます。

青年部部长 青山 裕之



お名前

伊澤 陽平

現在の仕事

法定監査、税務業務

趣味

峠&首都高ドライブ、洗車

最後にひとこと

2022年7月に開業いたしました。現在は、監査法人で業務受託として働き、税務については修行中です。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

お名前

高橋 文章

現在の仕事

非常勤監査、各種会計コンサルティング（内部統制、開示支援等）、財務デューデリジェンス、税務（準備中）

趣味

旅行（海外・国内）、音楽鑑賞、プロ野球観戦（東京ヤクルトスワローズ）、ジム通い

最後にひとこと

2023年4月に朝霞市（最寄駅は東武東上線志木駅）で独立開業いたしました。独立開業初年度に第一子が生まれることになり、仕事と子育てで全然余裕が無いですが、徐々に仕事も家庭も軌道に乗せていけるように頑張ります！

埼玉会のイベント・研修会にも積極的に参加していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



お名前

高松 亮祐

現在の仕事

税務業務と会計コンサルをメインで行っております。来年度から監査業務も行います。

趣味

テニス、釣り、ゴルフ（最近始めました）、スーパー銭湯

最後にひとこと

2021年10月に大宮で開業いたしました。埼玉会の活動等で皆様と交流し楽しい時間を過ごせたらと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

（ゴルフを最近始めまして、お誘ひいただけますと幸いです。）



SAITAMA CPA NEWSは30号・20周年を迎えました

2004年1月に「埼玉県会CPAニュース」として始まった当会の会報誌は、本号で30号・20周年を迎えました。そこで今回はこれまでの会報誌の歴史を振り返ります。

SAITAMA CPA NEWSのあゆみ

「埼玉県会CPAニュース」
第8号
(2011年1月1日発行)



「埼玉県会CPAニュース」
創刊号
(2004年1月1日発行)

熊木会長の挨拶文を皮切りに、会報誌が産声をあげました。当時は埼玉会の前身である東京会埼玉県会として活動していました。



2004年1月

熊木雄太郎 会長
会員数：358名

2008年1月

宮原敏夫 会長
会員数：433名

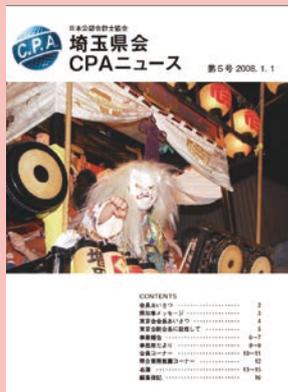
2011年1月

荒井伸夫 会長
会員数：448名

2013年1月

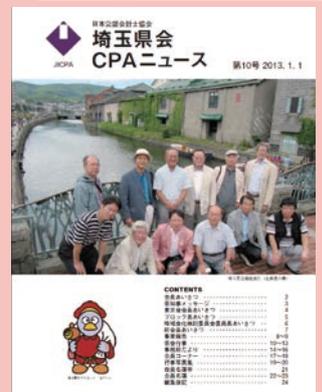
小山 彰 会長
会員数：522名

「埼玉県会CPAニュース」
第5号
(2008年1月1日発行)



「埼玉県会CPAニュース」
第10号
(2013年1月1日発行)

節目となる10号記念。ページ数も増量して発行。埼玉県会事務所がリニューアルされ、研修室も新たに借りるようになるなど県会の規模も徐々に拡大していきます。



皆さんの思い出に残るCPAニュースはありますか？
現在は年2回の発行ですので、このままいけば40号は2029年1月、50号は2034年1月の発刊となります。
SAITAMA CPA NEWSは、今後も埼玉会会員・準会員及び県内の自治体、関係団体の皆様に埼玉会の活動を情報提供していきます。



CPA ニュース第1号発行当時副会長でいらっしゃった宮原敏夫先生（現 埼玉会相談役）に当時のことを振り返っていただきました。（インタビューー柴田英樹）

Q1 「宮原先生は第1号の埼玉県会ニュース作成の時代はどのような形で当時の埼玉県会とかかわっていらっしゃったのでしょうか？」

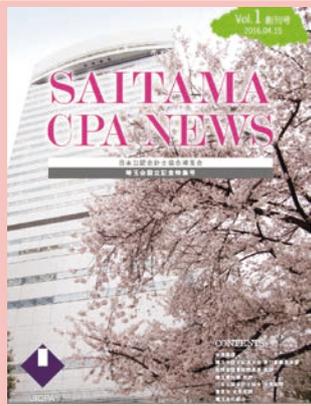
回答 「埼玉県会 CPA ニュース第1号発行が2004年号ですのでおよそ20年前のことになります。当時私は熊木会長の執行部のもと、副会長で総務関係の業務を担当しておりました。それまでの埼玉県会は独自の事務局を持たず、会長の個人事務所を県会事務局とするというルールがありましたので、県会事務局が転々としていたのですが、熊木会長時代に初めて埼玉県会事務局としてビルの一室を借りて常勤の職員を配置し、事務局を設置いたしました。場所はさいたま新都心駅近くの雑居ビルの5階で今の事務局と比べるとだいぶ小さな事務所スペースでしたが、事務局としての体裁を整えるため、事務局の職員を採用したり中古のいすや机など事務局の備品を備えるのに奔走したのを覚えております。埼玉県会第1号CPAニュースの表紙の写真は新都心の合同庁舎の写真ですが、実は後ろの方に小さく最初の事務局がありました中村ビルが小さく写っております（笑）。」

Q2 「当時の会務活動で思い出に残っていることなどありましたら教えてください」

回答 「当時の埼玉県会の会員は400名程度で現在の半分以下でした。埼玉県会事務所を持つようになってから積極的に埼玉県会独自の研修を実施したり各種行事などを本腰を入れて企画・実施するようになりました。単位のため研修には来るけど埼玉県会で実施する各種行事には参加しない会員が多くて、行事に参加してもらう会員を増やすのにとても苦労した記憶があります。友好土業の集まりであるよろず相談会、ゴルフコンペや東松山で実施しているスリーデーマーチなどはこの時に立ちあげたものですが、現在も埼玉会の定例イベントとして定着しているのは感慨深いものがありますね。」

Q3 「埼玉会の皆さんにメッセージをお願いします」

回答 「どうしても埼玉会に参加する人や活動する人が減ってきてしまいますので、若い人、新しい人がどんどん入ってくるような活発な会になって欲しいと思います。例えば新入会者に対するウエルカムガイダンスも年1回とはいわず年3回くらいやってもいいくらいだと思います。また、会員同士の交流を深めるための各種行事や親睦会をもっと充実させてほしいですね。同業者でも他の土業の方でも知り合いが増えていくとその後の仕事に繋がることも多いので、そういう機会を設けて活かさないのはとてももったいないですね。」



**「SAITAMA CPA NEWS」
埼玉会設立記念特別号
(2016年4月15日発行)**

2016年4月1日に15番目の地域会として埼玉会が誕生。
会報誌も「SAITAMA CPA NEWS」として生まれ変わり、ここから年2回の発行となります。
●埼玉会設立記念大会

2016年4月
小山 彰 会長
会員数：659名

2018年1月
小山 彰 会長
会員数：708名

2020年8月
西川正純 会長
会員数：746名

2023年1月
土屋文実男 会長
会員数：871名

2024年1月
土屋文実男 会長
会員数：880名



**「SAITAMA CPA NEWS」
第5号
(2018年1月1日発行)**

- リモート研修会の開催開始
- 埼玉会HPリニューアル



**「SAITAMA CPA NEWS」
第10号
(2020年8月10日発行)**



バックナンバーは埼玉会のホームページで
ご覧いただくことができます



事務所所在地はどちらですか？

埼玉県所沢市です。

現在の主な業務内容を教えてください

非常勤での上場会社の監査業務、東京プロマーケット上場準備会社の社外監査役、県内自治体の包括外部監査、税務顧問、上場企業向けの会計研修などを行っています。独立してやっていけるのか不安でしたが、周りの方や元クライアントの方がお声をかけてくださり大変有難く感じております。

これまでの職歴を教えてください

2010年12月に大手監査法人に就職し、監査部門にて国内上場会社等の会計監査業務に従事しました。毎日忙しく夜遅くまで働いて大変でしたが、その分だけ成長することができ、会計士としての基礎が培われたかと思います。また、監査チームのメンバーやクライアントとも濃い時間を共有することができ、沢山飲み会にも行き、今でも良い関係が続いていることに感謝しています。その後、同じ監査チームの先輩だった夫と結婚したタイミングで退職し、1年弱ほどの専業主婦期間を経て、別の監査法人のアドバイザー部門に転職、主に会計アドバイザー

業務に従事しました。この法人にいるときに子どもを二人出産し、育児をしながら働いていましたが、仕事と育児の両立に悩み、また子供を預けてまで働くのだから、自分の本当にやりたい仕事をやろうと決意し、2022年1月に独立開業しました。

公認会計士を目指したキッカケは何ですか？

高校生の頃、将来の人生プランを考えた際に、きちんと仕事もしたうえで、結婚・出産というライフイベントを経て幸せな家庭を築きたいという漠然とした思いを持ちました。その際にイメージとして浮かんだのは、ハイヒールを履いて丸の内を颯爽と歩く自立したカッコ良い女性像です。大学に入学後、自分のイメージする将来像に近づくために資格取得を考え始めたのですが、大学での簿記論の講義で減価償却の仕組みを知り会計の面白さを感じ、公認会計士を目指すことにしました。

受験時代の思い出はありますか？

専門学校の友人ができて楽しかったこともありますが、その友人の多くが先に受かってしまい辛かったこともありました。私だけ受からないのでは、と思いましたが、何とか合格して本当に良かったです。

得意科目は何でしたか？

財務諸表論、監査論、企業法です。理論立てて物事を考えることが好きなので肌に合っていたのだと思います。

苦手科目は何でしたか？

租税法です。理屈では説明つかない暗記が沢山あり、覚えるのにとっても苦労しました。

ご出身は？

所沢市東所沢です。最近、KADOKAWAのサクラタウンができて少し栄えてきたのですが、畑と林だけの昔の東所沢も田舎感があって好きでした。ただ、昔は街灯が少なく夜は真っ暗だったのですが、最近はだいぶ明るくなったので、そこは良かったと思います。今も実家があるので、よく遊びに行きます。

埼玉県でゆかりのある地や好きな場所などありますか？

生まれも育ちも、そして結婚後も所沢市に住んでいるのももちろん所沢が大好きです。都心へのアクセスが良いにもかかわらず田舎感があるところが良いと思っています。また、自宅には庭がないので、航空公園が自分の庭だと思っていて、週末によく遊びに行きます。

また、通っていた高校が川越にあったので青春時代を過ごした川越も好きです。部活後にクレアモールでプリクラを撮ったり、ファストフード店で何時間もおしゃべりしたのは良い思い出です。今度ゆっくりと蔵造りの街並みを観光したいです。

趣味はありますか？

旅行が好きで、国内海外問わずよく行きます。

監査法人時代にも、年に1回は海外旅行に行っていました。最初の監査法人を退職した年は、6月にハワイ、9月にロサンゼルス&ラスベガス、11月にパリ、翌年の3月には自分の結婚式をグアムで挙げて、さらに6月に新婚旅行でフランス・イタリアに行ってきました。旅行好きの私としては結婚式と新婚旅行を一括りにしなかった主人に感謝しています。ただ、その1年間は旅行に行きすぎてお金を使い果たしてしまい、その後7月に別の監査法人に転職することになりました。

あとは野菜づくりと味噌づくりにハマっています。ベランダ菜園でキュウリやトマト、ナスなどを栽培して食卓に並べています。昨年の夏は小玉スイカもつくったのですが甘味十分のおいしいスイカができました。味噌は冬場に仕込みして、あとは8ヶ月程度待つだけで手前味噌のできあがり。市販のものとは違ってくせがあるけどそれがまたクセになります。

休日はどう過ごしていますか？

子どもを連れて公園へ遊びに行くことが多いです。

また、家族全員アウトドア好きで山登りやキャンプ、バーベキューもよくやります。気に入った場所ができるトリートするようになるので、年々訪問する場所が増えていき土日のスケジュールがアウトドアで埋まりつつあります。

埼玉会の会務への関わりはありますか？

ハロー！会計・制度説明特別委員会に加入し、ハロー！会計や公認会計士制度説明会の会務を担当しています。また、税理士会の租税教室も担当しており、会計教育・租税教育に関与する機会を多くいただいております。これらの会務を通じて、子供たちや学生の方たちに、世の中のことや、会計的なものの考え方、将来の人生設計等を考えてもらい、その子供たちの人生を豊かにするための助けになれば良いと思っています。いずれの会務も楽しく参加させてもらっていて、受講した生徒が興味津々に色々な質問をしてくれる姿を見てやりがいを感じています。また、11月に実施した巡回研修会所沢大会の講師（新リース会計基準の解説）も担当し、懇親会も大いに盛り上がり楽しませていただきました。

ご自身のお子さんにもハロー！会計や租税教室の場で教えることがあるかもしれませんね

私自身が今実際に子育てをする中で会計教育の大切さ・必要性を実感しているので、自分の子どもに教えるとしたらと思案しながら会務に取り組んでいます。今後も引き続き会計教育に携わり、いつか自分の子供にも教えられると良いなと思っています。

埼玉会へのご意見やご要望はありますか？

2022年より埼玉会の所属となりました、どうぞよろしく願いいたします。全体の懇親会等にはまだ参加したことがないのですが、これからは是非参加させていただきたいです。

最後に今後の目標についてお聞かせください

大手監査法人を退職後、監査業務からは距離を置いていたのですが、独立してから監査業務に関わる機会が多く、改めて監査という仕事が面白いと思うようになりました。監査業務も大切にしながらバランス良く仕事をしていきたいです。包括外部監査についても引き続き関与できれば良いなと思っています。また、ハロー！会計等の取り組みも続けつつ、会計教育についてももう1つ踏み込んだ何かをしていきたいと思っています。

仕事も楽しく取り組みつつ、家族との時間も大切に、ワークライフバランスを意識しながら日々の生活を送ってまいります。

どうもありがとうございました。

(取材・文：鈴木 雅也)



コロナ前フランス旅行（娘と）

◆ 会員慶弔見舞

(掲載許可をいただいた方のみ記載しています。)

ご結婚おめでとうございます

岡田 吉弘 様 (会員)

謹んでご冥福をお祈りいたします

真 下 和 男 様 2023年 7 月26日ご逝去 90歳 (会員)

椎 野 晃 雄 様 2023年 8 月23日ご逝去 75歳 (会員)

中 泉 敏 様 2023年 9 月11日ご逝去 72歳 (会員)

新 井 毅 俊 様 2022年12月15日ご逝去 87歳 (新井 直毅 準会員 御尊父様)

◆ 会員数 (2023年11月30日現在)

種 別	会 員				準 会 員						合 計
	公認会計士	外国公認会計士	監査法人	計	一号準会員	二号準会員	三号準会員	四号準会員	五号準会員	計	
埼 玉	880	0	0	880	4	31	0	120	—	155	1,035
全 国	35,563	2	286	35,851	75	491	0	5,935	189	6,690	42,541

- (注) 1. 一号準会員は、公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者
2. 二号準会員は、会計士補
3. 三号準会員は、会計士補となる資格を有する者
4. 四号準会員は、公認会計士試験に合格した者 (一号準会員に該当する者を除く。)
5. 五号準会員は、特定社員 (地域会には所属しない。)

◆ 事務局だより



昨年11月末をもちまして、埼玉会事務局を退職いたしました。
出向の期間を含めまして5年6か月の期間を埼玉会で務めさせていただきました。在任期間中は、会員準会員の皆さまの温かいご支援をいただき何とか全うすることができました。この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。

事務局長として至らない部分が多かったとは思いますが、ご容赦いただきたいと思います。協会本部の勤務の時代から数えますと、43年8か月という協会での勤務生活でした。今となって考えてみると、あっという間であったかなと感じております。

今後の埼玉会の会員準会員の皆様のご健康、ご活躍を心からお祈り申し上げます。 清水 克



私は昨年8月より東京会から出向し、清水事務局長のご退任に伴い12月からは埼玉会事務局長を拝命いたしました。この度、事務局長という大役をいただき、大変責任を感じております。事務局体制については昨年、小林職員が入局し4名になりパワーアップしましたので、埼玉会会員・準会員の方々、役員の方々からご協力、ご指導いただき、業務に励んでいきたいと存じます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

事務局長 菅野 威

「研修、調査研究の担当をしています。鈴木綾香」「総務、経理の担当をしています。市村 恵」

「厚生、業務、広報の担当を引き継ぎ中です。小林美貴子」

「事務局一同、より良い運営ができますように精一杯頑張ります。」

埼玉会ホームページ <https://saitama.jicpa.or.jp>

会員専用ページへアクセスするためのID・パスワードは協会本部ウェブサイト会員マイページへアクセスするためのID・パスワードと共通です。

日本公認会計士協会埼玉会

〒330-8669

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階

TEL : 048-644-9050 FAX : 048-644-9054

E-mail : saitama@sec.jicpa.or.jp

URL : <https://saitama.jicpa.or.jp>



◆ 日本公認会計士協会 埼玉会

SAITAMA CPA NEWS Vol.17 2024.1

発行人：埼玉会 会長 土屋 文実男

編集人：副会長 (広報委員会) 大塚 健一

常任幹事 (広報委員会) 筑紫 徹

常任幹事 (広報委員会) 長岡 千晶

幹事 (広報委員会) 大川 千仁

幹事 (広報委員会) 鈴木 雅也

構成：SAITAMA CPA NEWS 特別委員会

安 保 真 人 / 酒 井 健 一

柴 田 英 樹 / 高 橋 文 章

田 中 勇 多

印刷所：株式会社正文社

表紙写真：酒 井 健 一 会員